



第3回 東海ジュニアオープンバドミントン選手権大会

第3回東海ジュニアオープンバドミントン選手権大会が、11月30日男女ダブルス、12月1日に男女シングルスが名古屋市体育館にて行われた。

男女シングルス

男子は愛知7、岐阜4、静岡2、三重3の各選手が決勝トーナメントに勝ち上がった。

ベスト4は全員が愛知県勢で、決勝は伊藤優斗選手と稲垣遥翔選手の同県同チーム(名経大市邨中)の対戦となった。1ゲームも落とさず勝ち上がってきた伊藤選手に対し、稲垣選手は3試合のうち2試合がファイナルゲームの接戦であった。稲垣選手は果敢に攻める姿勢を見せたが、最後までスピードを落とさず動き続けた伊藤選手が栄冠を手にした。

女子はジュニアナショナルの練習ため愛知県の3選手が不参加の大会となった。愛知4、静岡2、岐阜5、三重5の各選手が決勝トーナメントに勝ち上がった。ベスト4は各県1名ずつとなり、決勝へは愛知県の蔡せん選手(滝ノ水中)と岐阜県の松永紗南選手がともに1ゲームも落とさずに勝ち上がった。蔡選手は粘りをみせ長いラリーを制する場面もあったが、早いタッチで各ショットを繰り返し最後まで疲れを見せず攻めきった松永選手が栄冠に輝いた。

(広報委員長 浅井淳)



伊藤優斗選手
(名経大市邨中)



蔡せん選手
(滝ノ水中)

男女ダブルス

男子は決勝トーナメントに愛知、三重が4、静岡が2、岐阜が6組残った。準決勝はどちらも愛知対岐阜となり、その2つとも愛知が勝ち上がった。同校(名経大市邨中学)対決となった決勝は、伊藤優斗・稲垣遥翔組が伊藤源征・近藤アタラ組に攻められても、しっかりレシーブからラリーに持ちこみ、要所を抑え、優勝を果たした。伊藤優斗・稲垣遥翔組はこの大会予選の愛知県中学生新人戦初戦から、1ゲームも失わない完全優勝であった。

女子は愛知4、岐阜7、三重2、静岡5が決勝トーナメントに残った。女子の決勝も愛知県対決となった。準決勝まで他県の選手を寄せつけずに上がってきたBe Strong Jr. の佐藤彩乃・万年美澄組と2度のファイナルゲームを逆転で制し勝ち上がった名経大市邨中の渡邊佳蓮・白木紗佳組の対戦であった。ファイナルゲームまで纏れたが、渡邊佳蓮・白木紗佳組の攻撃を粘り強く返す佐藤彩乃・万年美澄組が徐々に主導権を握り長時間にわたる熱戦を制した。

(広報委員 大村悠介)



(手前)伊藤優斗選手・(奥)稲垣遥翔選手
(名経大市邨中)



(左)佐藤彩乃選手・(右)万年美澄組選手
(Be Strong Jr.)



明日へ駆ける



東海小学生バドミントン選手権大会

10月13日、三重県伊勢市の三重県営サンアリーナにて、東海小学生バドミントン選手権大会が行われました。東海4県それぞれの予選会を勝ち抜いた選手たち(各カテゴリベスト4以上)により、年末に兵庫県で行われる全国小学生バドミントン選手権大会への出場権をかけた熱戦が繰り広げられました。

愛知県の小学生は、ネット前へのすばやさぎが特徴です。年に10回以上行っている強化合宿は、相手選手よりも高い位置、ネットに近い位置でシャトルに触ることを意識して練習してきました。

その結果、出場権36枠(男女別シングルスおよびダブルスの6年、5年、4年以下の3位以上)中、25枠を愛知県勢が獲得しました。各チームに県の方針が浸透し、全体のレベルが底上げされた結果だと思えます。

愛知県の小学生は強いです。全国大会での活躍を期待してください。

(小学生連盟強化委員長 小林宏也)



開会式



5年生女子ダブルス表彰式

全国小学生バドミントン大会出場選手

6年男子ダブルス	山内智陽 井村烽陽 (大里東ジュニア)	田中煌真 白居煌季 (TOYOKAWA Jr.B.C)	尾崎郁仁 曾我颯斗 (Unibirds岡崎)
5年男子ダブルス	青山久都 斎木權成 (はりーあっぷジュニア)	松竹湊 咽本雄星 (Unibirds岡崎)	藤井惇 鈴木春登 (ハシルトン)
4年以下男子ダブルス	亀山大輝 三島理空 (師勝ジュニア)	市川晃二郎 中西陽希 (はりーあっぷジュニア)	
6年女子ダブルス	加藤よつ葉 峰めりあ (T-Jump Jr.)	福田怜 磯田真凜 (T-Jump Jr.)	
5年女子ダブルス	平田花子 田中倫奈 (Winwin)	花堂希衣 三ツ石心花 (はりーあっぷジュニア)	
4年以下女子ダブルス	服部紗和 齋藤日向 (Unibirds岡崎)	西崎都花 古川沙羅 (ハシルトン)	

6年男子シングルス	山田世史 (西尾ジュニア)	服部恵大 (Unibirds岡崎)	角倉蓮太※ (西尾ジュニア)	玉城春真※ (西尾ジュニア)
5年男子シングルス	伊藤稜平 (師勝ジュニア)	長神旺征 (豊橋ジュニア)	村井晴飛 (西尾ジュニア)	
6年女子シングルス	松本紗奈 (はりーあっぷジュニア)	牧田みなみ (はりーあっぷジュニア)	浅野莉子※ (長久手ジュニア)	
5年女子シングルス	長尾柚希 (はりーあっぷジュニア)	渡邊世玲菜※ (大里東ジュニア)		
4年以下女子シングルス	田中花和 (NOCK)	宮下蒼夏 (SGUジュニア)	牧田つばめ (はりーあっぷジュニア)	

※ 推薦選手

大府

JR 大府駅西口徒歩 8 分

バドミントンプロショップ
リーダーズ グループ

SINCE1979

名古屋一社

地下鉄一社南出口より徒歩 2 分

はりーあっぷ

代表 中口直人

TEL(0562)44-5529 FAX(0562)44-5594

(有)リーダーズ

代表取締役 菱田修光

TEL・FAX(052)703-2767

令和6年度 愛知県高等学校新人体育大会

9月に行われた各支部予選を勝ち抜いてきた選手たちによる県大会が令和6年10月19日、20日、26日、27日の日程で、名古屋市内5つのスポーツセンターにおいて開催された。

初日には学校対抗団体戦が天白スポーツセンターで行われた。団体戦は2複3単で実施されるが、男女ともに初戦から学校間での力の差が小さく最後の試合3単までもつれる熱戦が多く、今年の夏のように長く熱い一日となった。

男女とも決勝は名経大市邨高校対岡崎城西高校の対戦となった。春の総体から主力を張った選手が多く残る市邨が、メンバーの大きく入れ替わった城西に対し、終始自分たちのペースで優位に試合を進めた。

男子は榎・澤木(市邨)、高野・杉山(城西)の対戦で始まった。序盤は競っていたが、市邨のペアが低く早いラリー展開で少しずつ点差を広げ2-0で取った。2複、市邨中村・榎尾と城西三ツ石・西尾の対戦はパワーのあるショットで相手を崩して主導権を握り、こちらも市邨が2-0で取った。1単には個人戦単チャンピオンでもある市邨の渡邊に城西角倉が挑む。立ち上がりこそ角倉も相手の強烈なショットに喰らいついていくが、渡邊の自在なラリー展開に差を広げられ、2-0で渡邊が取った。結果として市邨は初戦からすべて3-0のマッチカウントで完全優勝を決めた。主将の中村は「1ゲームも落とさずに県を勝ち抜くことを目標としていた。このまま東海も優勝して全国でも8に入りたい」と語った。



名経大市邨高校(男子)

女子も1複で稲垣・岡島(市邨)は馬場・縣(城西)に1ゲーム目前半こそミスもありどちらに転ぶかわからない試合展開であったが、後半から集中力を増し一気に試合を決めた。2複では市邨伊藤・阿保が城西宮田・竹本に対し攻め続け、1単市邨田村も城西松本をコート四方に動かし続けて危なげなく勝ち、男子と同じく3-0で優勝を決めた。主将の伊藤は「みんなの力で取った1位、全国でも8に入りたい」と次の目標を挙げた。

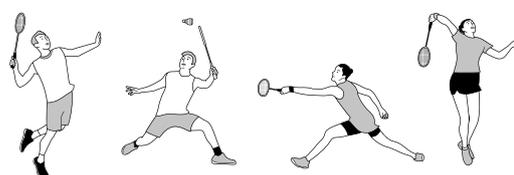


名経大市邨高校(女子)

	男子			女子		
	学校対抗	複	単	学校対抗	複	単
優勝	名経大市邨	榎尾・中村(市邨)	渡邊(市邨)	名経大市邨	稲垣・岡島(市邨)	伊藤(市邨)
準優勝	岡崎城西	渡邊・因藤(市邨)	澤木(市邨)	岡崎城西	伊藤・阿保(市邨)	稲垣(市邨)
第3位	愛工大名電	榎・澤木(市邨)	中村(市邨)	星城	宮田・豊島(星城)	岡島(市邨)
	愛産大三河	三ツ石・西尾(城西)	三ツ石(城西)	豊川	森・三好(豊川)	田村(市邨)

12月25～27日に静岡県掛川市で東海選抜、3月22日～26日に石川県金沢市で全国選抜が実施されます。出場する選手たちへの声援をお願いします。

(高体連 大村悠介)



理事長通信

愛知県バドミントン協会
理事長 井上 龍



国民体育大会(国体)から国民スポーツ大会(国スポ)に名称が変わり、今年度の第78回大会が佐賀県で開催されました。バドミントン競技は唐津市において10月5日～8日の日程で実施され、愛知県から東海ブロック大会を勝ち抜いた成年女子、少年男子、少年女子の3種目が参加しました。

国スポでのメダル獲得は愛知県バドミントン協会の目標の一つでしたが、残念ながら達成には至りませんでした。代表選手はメダル獲得を目指して頑張りましたが、成年女子は宮崎県に1-2で、少年男子は福岡県に1-2で、少年女子は香川県に1-2で其々惜敗しました。来年度は目標が達成できるよう選手強化策に力を入れていきたいと考えています。

さて話は変わりますが、6月のジュニア国際大会で、他国の選手が試合中に突然倒れ、残念ながら心不全で死亡するという事故が発生しました。再発防止のため日本バドミントン協会より、大会運営上の緊急時の対応、救急救命方法の見直し等の通達があり、これを受けて愛知県バドミントン協会では、AED講習会の開催頻度を高め、大会開催会場でのAED設置および準備確認を必須といたしました。大会開催中に選手が不幸な事態に至らぬように努力してまいります。

愛知のホープ

かめ やま たい き
亀山大輝
(北名古屋市長北小学校 4年)

みしま り く
三島理空
(小牧市立北里小学校 4年)



(左)亀山大輝選手・(右)三島理空選手

北名古屋市で活動する師勝ジュニアにて同学年同士でダブルスを組んでいます。

同じ年代のチームメンバーや指導者、練習環境にも恵まれて堅実に力をつけ、若葉の全国大会出場、8月に行われた愛知県予選ダブルスで準優勝。10月に行われた東海大会では4年生以下の部ダブルスで優勝を収めました。

2年生の頃から一緒に練習をしていましたが、ペアを組んだのは今年の7月からです。組んで間もないペアではありますが、ふたりとも日頃からの基礎練習を怠らず、バドミントンにも真面目に向き合っています。プレースタイルは堅実なレシーブと粘り強いラリーを得意としています。

お互いに自己主張が少なく、気持ちを前に出すタイプではありませんが「勝ちたい」という原点の想いは強く持っており、日々の努力を忘れず、時に涙しながら一生懸命練習を積み重ねています。全国大会で良い結果をだし、そして来年以降も大きく活躍できるペアだと期待しています。

(師勝ジュニア 指導者 葛城純司)

西三河のバドミントン専門店

モリタスポーツ

豊田市山之手3丁目100番地
☎ <0565> 29-0055

勝つための本物

GOSEN®

www.gosen.jp

株式会社ゴーセン 大阪本社/TEL.06-7175-7116 FAX.06-6201-0741

市町村だより

知多市スポーツ協会バドミントン部

知多市ジュニアバドミントン大会

令和6年11月23日(土)メディアス体育館ちたにて、第37回知多市ジュニアバドミントン大会(市の委託事業)を開催しました。例年に比べ参加者は少なかったが、市内の5つのジュニア教室所属のシングルス43名、ダブルス21組が父兄の熱い声援を受けて戦いました。

種目	優勝	準優勝	3位	
6年以下ダブルス	竹之下大悟 池尾颯太 (知多J)	堀越直人 瀧野晃斗 (新知)	立岩希衣 早川莉秀 (新知)	西玲杜 浅田弥隼 (知多J)
5年以下ダブルス	神谷芽吹 本田衣千花 (旭北)	石田湧空 恒川遼太 (八幡)		
4年以下ダブルス	堀越優希 立岩真衣 (新知)	深川雅晴 今井奏馬 (新知)	近藤巨 清水友稀 (知多J)	
6年以下男子シングルス	堀越直人 (新知)	竹之下大悟 (知多J)	池尾颯太 (知多J)	安島巧 (知多J)
5年以下男子シングルス	恒川遼太 (八幡)	飯田凪海 (知多J)	神谷芽吹 (旭北)	
4年以下男子シングルス	瀧野晃斗 (新知)	今井奏馬 (新知)	清水友稀 (知多J)	
6年以下女子シングルス	早川莉秀 (新知)	立岩希衣 (新知)	池山紗弓 (新知)	
5年以下女子シングルス	榎田怜愛 (八幡)	榎田唯愛 (八幡)	青木咲璃 (旭北)	
4年以下女子シングルス	早川梨菜 (旭北小)	堀越優希 (新知)	立岩真衣 (新知)	

全知多バドミントン大会

知多半島5市5町のよる最大の大会、第46回全知多バドミントン大会が、メディアス体育館ちたにて行われました。

令和6年11月2日(土)高校団体戦(43チーム、248名)、令和6年11月3日(日)一般個人戦(136組、272名)で、両日ともに熱戦が繰り広げられました。個人戦はコロナ前以上の参加人数です。

最近の傾向として、3部においては男女とも高校生が半分を占めています。若い力が加わり、大きな声をだして気合を入れるなど活気溢れる大会となりました。

種目	優勝	準優勝	3位	
高校男子団体戦	半田商業高校A	大府高校A	半田東高校A	横須賀高校A
高校女子団体戦	阿久比高校A	東海樟風高校A	半田高校A	半田農業高校A
男子ダブルス1部	鈴木陵麻 樋渡元志 (知多市)	田畑佳樹 青山陸人 (武豊町)	神之田星斗 毛利柊光 (常滑市)	高平息吹 守屋政輝 (武豊町)
男子ダブルス2部	松下蒼馬 福岡暖大 (東海市)	中村心 中村周平 (東海市)	川田和暉 村上僚 (半田市)	
男子ダブルス3部	新美諒 梁谷啓介 (大府市)	稲葉瑛仁 小林直央 (大府市)	近藤克樹 加藤佑奈 (大府市)	賢生悠介 小田琥太郎 (東海市)
女子ダブルス1部	井手智遥 田中愛美 (東海市)	田口佳奈 浅井風香 (武豊町)		
女子ダブルス2部	牧村友紀奈 坂上楓 (東海市)	深谷菜 渡邊梓 (半田市)	貝原星乃 杉本恵末 (東海市)	
女子ダブルス3部	今野杏優 小出石美月 (半田市)	森田小春 竹内結菜 (半田市)	岩本莉奈 河村夢来 (知多市)	佐々木杏遙 品川沙恵子 (半田市)

一宮バドミントン協会

一宮市民秋季バドミントン大会

9月22日一宮市総合体育館にて開催されました。参加者数129ペア。今大会はICCの撮影もありました。

◆男子1部優勝

「楽しく試合が出来ました」(近藤)

「もうちょっとで負けそうだったので、緊張しました」(竹岡)

◆女子1部優勝

「次も優勝できるように頑張ります」(安藤、大場)

◆男子3部優勝

「次は怪我がないように頑張ります」(福田)

「これからも実力を伸ばせるように精進します」(杉野)

種目	優勝	準優勝	3位	
男子1部	近藤峻矢 竹岡房樹	丹羽悠花 末松功大	仲川俊也 田中康樹	井上裕介 堀裕貴
男子2部	古田七響 浅野丈徳	松尾和 近藤祐生	埜敏幸 小川湧平	西尾駆 鳥居大恵
男子3部	杉野祐介 福田大貴	山川裕二 吉田達也	岡副好晃 野澤丈広	秋田申之助 亀井一輝
男子初心者	河合恒憲 高橋圭織	甲斐広人 甲斐和子	信原司 三輪こずえ	服部佑太 高田珠羽汰
男子シニアA	久木田佳裕 長瀬寿一	大浦直人 古田圭三	生田純也 伊藤元徳	有賀督人 澄川順也
男子シニアB	杉山誓英 廣田一	野村幸信 松下茂史	武智清治 松永浩治	松本博 稲葉正法
女子1部	安藤七海 大場優芽	杉江紗矢香 脇田乃幸	浅井風香 田口佳奈	
女子2部	小倉瑠唯 加藤理紗子	辻君衣 井上有華	福田祥乃 高尾愛美	直居香奈 矢田知美
女子3部	井谷友子 中本仁美	渡邊茜 内藤美保	伊藤美帆 伊藤緑	山口博子 安福記代美
女子初心者	友松友里江 城間朋子	浅野愛央 國立莉乃	渡邊菜々穂 丹下咲耶	
女子シニアB	小池由紀子 松永周子	松原真弓 風見栄里子	水谷万里子 栗林直美	

「全国小学生バドミントン選手権大会」
団体戦 男子優勝!女子準優勝!

2024年12月25日～28日に兵庫県神戸市で開催された、第33回全国小学生バドミントン選手権大会、都道府県対抗団体戦において、男子が2年ぶりの優勝に輝き、女子も準優勝と共にすばらしい成績を収めました。

また個人戦においても、男子シングルス6年生以下の部で角倉蓮太選手(西尾ジュニア)が優勝!女子シングルス4年生以下の部で宮下蒼夏選手(SGUジュニア)も優勝しました。



角倉蓮太選手(右から二人目)



男子団体優勝



宮下蒼夏選手



女子団体準優勝

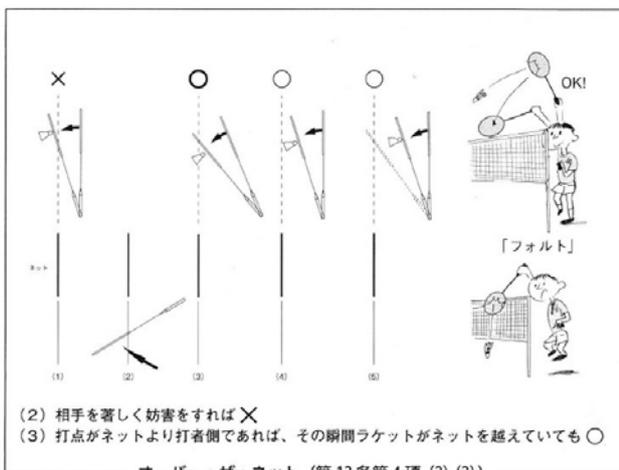
詳細は、公式サイトをご覧ください。

審判連載 ルールブック講座

第14回 「ラケットがネットの上を越えたかどうかの判定」 池上 信之

通称【オーバー・ザ・ネット】のことが、競技規則第13条第4項(2)に定められています。ラケットまたは身体がネットの上を越えて、少しでも相手のコートに侵したとき、また、ラケットとの最初の接触点が、ネットより打者側でなかったとき(ただし、打者が、ネットを越えてきたシャトルを、1回のストロークで打つ場合、ラケットがシャトルをおってネットを越えてしまうことはやむを得ない)はフォルトと規程されています。

つまり、シャトルをどこで打ったのかがフォルトかどうかの判定のポイントとなります。シャトルを打ったのが打者側であれば、フォルトではありません。また、規程どおり、打者側で打ち、その後ラケットがシャトルを追ってネットを越えてしまったのであればフォルトではありません。また、ルールの改定があり、打点が打者側であれば、ラケットがネットを越えてもフォルトにならないことになりました。プレーヤーだけでなく、審判をする場合も注意しましょう。



編集後記

新年あけましておめでとうございます。

名城公園の近くを通るたびに気になっていたIGアリーナ(旧愛知県体育館)の姿が見えてきました。オープンは2025年夏の予定。特徴的な外観デザインは東京オリンピックのメイン会場である国立競技場を手掛けた建築家隈研吾氏によるもの。名城公園の自然と調和する人間らしい空間にするため「樹形アーチに包まれたアリーナ」だそうです。

愛知県で国内外のスポーツイベントや音楽等ライブエンターテインメントを楽しむことができるIGアリーナの完成はとても魅力的です。

(広報副委員長 鈴木勝男)

連絡
投稿

〒453-0851
名古屋市中村区畑江通6-14
広報委員長 浅井 淳(あさい じゅん)

公式サイトアドレス
<https://www.badminton-aichi.com/>
Eメールアドレス
info@badminton-aichi.com

